

平成29年度学校評価シート

神戸甲北高等学校 学校評価委員会

●教育理念 ①自らの力で道を切り拓く人間力の養成 ②グローバルマインドの育成 ③命を尊重し、家族を大切にす心の涵養		●平成29年度学校経営の方針 総合学科改編21年目を迎え、総合学科をさらに進化させる“フロンティア”を目指す。 ①開校時の精神の堅持と活気ある校風の醸成 ②「教える」学校から「学ぶ」学校への転換 ③先進的な総合学科を創造する ④学校・家庭・地域の連携		●学校評価とは 学校評価は、経営計画や教育計画に基づいて実践される教育活動がどの程度機能しているのかを評価するために行われます。また、その結果から、学校の優れている部分や学校が抱えている課題を明らかにし、学校改善を進め、生徒をよりよく育成させるものです。 学校評価は具体的には次の5つのステップで行われます。 P(Plan:計画)→D(Do:実践)→C1(Check1:学校自己評価)→C2(Check2:学校関係者評価)→A(Action:改善)→次年度のP・・・ このP→D→C1→C2→Aサイクルを毎年しっかりと循環させることで学校改善を途切れることなく漸進的に進めることができますといわれています。		自己評価 平均(4点満点)
テーマ	領域	重点目標	評価項目 No.	評価項目	主たる担当部署	
すべては君のために	キャリア教育の充実	産社の充実(基礎的・汎用的能力の特に①②③)	1	産社を通じて、自己理解、自己管理能力が向上した。	総推、1年次	2.8
			2	産社を通じて、学ぶ意欲が向上し、将来を見据えて真摯に努力する意欲や態度が育った。	総推、1年次	2.7
			3	産社を通じて多様な他者を理解し、他者と協働して社会に参画する基礎力が育った。	総推、1年次	2.8
		※4つの基礎的・汎用的能力 ①自己理解・自己管理能力 ②人間関係形成・社会形成能力 ③キャリアプランニング能力 ④課題対応能力 ※「キャリア」とは職業を通して社会と関わり、夢を実現していくなど自分らしい生き方や幸せをつかんでいくこと。 ※上記の「基礎的・汎用的能力」とはキャリアを達成するうえで根底となる力であり、状況の変化やライフステージにおいて多方面に応用できる力のこと。(文部科学省)				
			4	総学を通じて、課題対応能力が向上した。	総推、2・3年次	2.7
			5	総学を通じて、プレゼンテーション能力が向上した。	総推、2・3年次	2.7
			6	総学を通じて、学ぶ意欲や自信につながった。	総推、2・3年次	2.6
		進路の達成(キャリアを達成するためのワンランクupの決定)	7	産社、総学がワンランクアップの進路達成に結びついた。	進路、総推、3年次	2.6
			8	第一に志望する進路で決定することができた。	進路、3年次	2.7
			9	人生を通した豊かなキャリア形成の礎が形成できた。	進路、3年次、全職員	2.7
	学力の向上	授業改善	10	分かる授業、意欲を高める授業を実施した。	教務、各教科、学力向上委員会	2.2
			11	生徒の意見をフィードバックして授業改善に取り組んだ。	教務、各教科、学力向上委員会	2.1
			12	学校全体で、新学習指導要領を見据えた授業改善に取り組んだ。	教務、各教科、学力向上委員会	2.7
		学習習慣の定着(予習、授業、復習のサイクル)	13	毎日計画的に家庭学習する生徒が増えた。	各年次、全職員	2.1
			14	小テストや週末課題(宿題)など家庭学習の定着を図った。	各年次、全職員	2.5
			15	学力向上や成績不振に対して補習、補講、添削指導などきめ細かい学習指導を行った。また、効果的な朝学習を実施した。	各年次、全職員	2.4
		ガイダンス機能の充実(面談力、年次指導力)	16	生徒の実態とニーズにあった科目を設定し、配置した。	教務、各教科、各年次、カリキュラム委員会	2.6
			17	科目選択において丁寧なガイダンスを行った。	1・2年次	2.7
			18	進路指導において丁寧なガイダンスを行った。	進路、各年次	2.7
	人間力の育成	生活指導の充実(規律の確保とカウンセリング力)	19	端正な服装や頭髮および時間を守るなど規律正しい学校生活を送らせた。	生徒指導、各年次	3.3
			20	共通理解に基づいた全職員による生徒指導を行った。	生徒指導、各年次	2.2
			21	生徒の悩みを聴く体制が取られており、いじめについても適切な対応ができた。	生徒指導、保健管理、各年次、カウンセリング委員会、いじめ対応チーム	2.2
		地域との連携充実(ボランティア活動など)	22	ボランティア活動など地域と連携した活動を推進した。	教頭、生徒指導、総務、ふるさと貢献事業委員会	2.7
			23	存在感のある神戸甲北高校を目指して、情報発信や広報活動を行った。	教頭、総務、総推	2.3
			24	学校評議員や保護者および地域と意見交換やニーズの把握に努めた。	教頭、総務、総推	1.9
		生徒満足度・充実度の向上(部活、生徒会、行事)	25	学校行事や生徒会活動において生徒の主体性を育成する教育を行った。	総務、生徒指導、行事検討委員会	2.4
			26	部活動を活性化し、豊かな人間性を養った。	全職員	2.8
			27	命を守り育む防災教育、人権教育および保健安全教育を行った。	全職員、総務、保健管理、人権教育推進委員会	2.3
	教師力の向上(＝面倒見の良い学校)と学校の特色化	教師力の向上	28	各教師はカウンセリング力、コーチング力(アドバイス力)の向上に努めた。	全職員	2.3
			29	各教師は報告・連絡・相談を密にとり組織的な教育活動(チーム学校)を行った。	全職員、校務運営委員会	2.1
			30	各教師は生徒をよく理解し、厳しさと温かさを持って指導に当たった。	全職員	2.5
		チーム学校(組織的な学校運営、学校改革)	31	経営戦略会議や各種委員会を中心に、全職員による学校改善・学校改革を推進した。	全職員、学校経営戦略会議	2.1
			32	研修を適宜かつ計画的に実施し、教師力の向上に学校全体で努めた。	全職員	2.1
			33	学校評価によるPDCAサイクルを回し、改善につなげた。	全職員、学校評価委員会	2.2
		学校の特色化	34	グローバル社会に対応した国際交流活動や外国人枠入学者にたいして入学後の学習支援を充実させた。	全職員、国際交流委員会、外国人生徒支援委員会	2.6
			35	県立神戸特別支援学校との「交流及び共同学習」を推進し、共生社会を尊重する心を育てた。	全職員、インクルーシブ教育推進チーム	2.5
			36	教育活動全般に関して、生徒・保護者の満足度・充実度が高まった。	全職員	2.1